

思春期青年期ワークショップ

『心理療法におけるつながりの再考』

～事例から学ぶ生命感への接触～

新型コロナが5類になり様々な制限が解除されました。人との直の接触が再開される一方でインターネット空間に重きを置く思春期青年期のクライアントと出会うことは稀ではなく、人と直接会い、つながることの難しさが再浮上しているのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、現代の思春期青年期臨床における対面設定を取り上げ、精神分析的思考を手がかりに、その意義と可能性を再検討します。

講師には、タビストック・クリニック思春期青年期部門で学ばれた飛谷渉先生をお招きします。

本ワークショップを対面で開催するのは実に5年ぶりです。事例提示をもとに、小グループのディスカッションを通して事例を紐解き、全体シェア、講義と質疑応答によってさらに掘り下げます。

心の生命感に触れるとはどういうことなのか？様々なこころのありように目を向けてみませんか？

当日の内容（予定）

3月10日（日）13:00～18:00 途中休憩あり

1 イン트로ダクション（飛谷渉先生）

思春期青年期臨床の難しさとは？事前質問を元に身近な臨床経験から考え始めます(20分)

2 事例検討セッション1 事例提示(30分)+グループディスカッション(45分)、講師コメント

思春期青年期事例の概要から、事例の輪郭を描いていきます。
4～5名の小グループで話し合っ事例の理解を立ち上げ、全体でシェアします

3 事例検討セッション2 事例提示(45分)+グループディスカッション(45分)

提示者からの検討課題を基軸に、グループディスカッション、全体シェアを行います

4 ミニ講義（飛谷渉先生）

飛谷先生より事例をふまえてコメント頂き、精神分析的にテーマを掘り下げ探求します(40分)

5 全体ディスカッションとまとめ

グループやミニ講義から得た視点を元に全体で対話し、日々の臨床への示唆を探ります(40分)

申込み概要

定員数：二次募集につき若干名

対象者：臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家、大学院生

受講料：7,000円（一般） 6,000円（サポチル会員）

会場：ワイム貸会議室 高田馬場（高田馬場駅徒歩2分）

申込締切：2024年2月29日（木）

※本研修は臨床心理士資格認定協会のワークショップ（第2条・4項）として承認されています。

※申し込みは、チラシ表面のURL、もしくはQRコードよりお申込みください

※受講料振込後のキャンセルには対応しかねます。